

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	高齢者虐待防止に努めることはもちろんのこと、「不適切なケア」について、見過ごすことがないよう、全職員で常に意識し、その意識を継続させていかなければならない。	高齢者虐待防止に努めることはもちろんのこと、「不適切なケア」を見過ごすことがないように努める。	①接遇委員会を中心に、各フロアでのミーティング、ケアカンファレンス時に、常に「不適切なケア」がないか確認する。 ②職員同士が注意し、気になることがあればすぐに話し合いを行って、ケアの方針について確認する。	12ヶ月
2	23	フロア内は入居者様の生活空間であることを踏まえ、また安全面も考慮しながら、過度な飾り付けとならないように配慮しているが、入居者様が季節の変化を感じ取れるような内容の飾り付けが少なかった。	春夏秋冬の季節の変化を入居者様に感じ取って頂けるように各フロアで工夫して飾り付けを行う。	①レクリエーション委員会を中心にして、季節の変わり目を迎えるにあたり、事前にどのような飾り付けを行うか協議していく。 ②協議した内容、決定事項を全職員に周知徹底し、職員と入居者様と、一緒に飾り付けを行う。	12ヶ月
3	1	グループホームの運営理念を職員一人一人により浸透させ、日頃からその理念を基本としたケア方針をしっかりと意識できるようにしたい。	入居者様のケアに当たる際、職員一人一人が常に運営理念を意識し、発言、行動できるようにする。	①接遇委員会を中心にして、定期的に運営理念を振り返り、理念に沿ったケアを実践できているかを確認する。 ②各フロアで朝礼を実施し、そこで運営理念の読みあげを行って、職員一人一人に意識してもらおう。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。